

平成25年度第2回墨田区地域福祉計画推進協議会議事要旨（案）

日 時： 平成26年3月24日（月）19時00分から20時30分

場 所： 墨田区役所12階 122会議室

- 議事内容：
- 1 開 会
 - 2 福祉保健部長あいさつ
 - 3 報 告
 - (1) 「墨田区地域福祉計画」の進捗状況等の報告について
 - (2) 「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」について
 - 4 そ の 他
 - (1) 墨田区で取り組んでいること
～要援護者への災害時支援体制について～
(墨田区総務部危機管理担当防災課)
 - (2) その他
 - 5 閉 会

【配布資料】

- 資料1 墨田区地域福祉計画 優先的取り組み 平成25年度事業計画・事業結果
資料2 第4回すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実施案
資料3 地域福祉計画に対するご意見

【参考資料】

墨田区災害時要援護者総合支援プラン

墨田区地域福祉計画推進協議会委員

氏 名	所 属	出欠席
○山口 稔	関東学院大学教授	欠席
市川 菊乃	墨田区医師会会長	欠席
大久保 勝久	東京都向島歯科医師会会長	欠席
青山 晰子	墨田区薬剤師会	欠席
吉田 政美	墨田区民生委員・児童委員協議会会長	欠席
西山 垣八	墨田区障害者施策推進協議会元会長	出席
荘司 康男	墨田区障害者団体連合会会長	欠席
◎野原 健治	墨田区私立保育園協会、興望館館長	出席
本間 久也	墨田区老人クラブ連合会副会長	出席
植竹 香苗	墨田区たちばな高齢者在宅サービスセンター施設長	出席
今 牧 茂	墨田区社会福祉事業団事務局長	欠席
深野 紀幸	墨田区社会福祉協議会事務局長	出席
北村 嘉津美	墨田区男女共同参画推進委員会委員	出席
石鍋 光子	朗読奉仕「くさぶえ」	出席
伊 藤 林	個人ボランティア	出席
本宮 秀明	全国福祉情報研究会 3SUNネット墨田支部	出席
小 川 昭	墨田区ボランティアサークル連絡会	出席
齊藤 宮子	点訳グループ「きつつき」	出席
品川 和宏	すみだNPO協議会 広報誌てくてく編集委員長	出席
大滝 信一	墨田区福祉保健部長	出席
関口 芳正	墨田区子育て支援担当部長	出席
中 橋 猛	墨田区保健衛生担当部長	出席
鈴木 陽子	墨田区区民活動推進部長	出席

◎推進協議会会長 ○推進協議会副会長

事務局

厚生課長 岸川 紀子
 障害者福祉課長 小板橋 一之
 厚生課 本田、柴田、山崎
 防災課 早川

1 「地域福祉計画 優先的取組」の進捗状況報告について

■ 事務局及び社会福祉協議会事務局長より報告

今回より、ただ結果を羅列するだけでなく、「目標と実績に関する分析」をいれることとした。報告は別紙資料のとおり。

2 墨田区地域福祉計画に対するご意見の紹介

■ 事務局より報告

墨田区地域福祉計画推進協議会委員より墨田区地域福祉計画に対しいただいたご意見を紹介した。報告は別紙資料のとおり。

【委員からの質問・ご意見】

■ 小地域福祉活動等について

- 小学校を拠点とした小地域活動ができたという話があったが、学校は使いやすい形になっているのか

→このケースは、学校の校長先生が子どもたちにぜひ福祉教育をさせたいという考えを持っていた。たまたま独立した使いやすい部屋があったり、民生委員さんが学校と深いつながりがあるなどいい条件が重なり実現した。

それを見た他の民生委員さんや地域の人が、「これはいい」と思ってくれて、児童館などでもできることになった。

なかなかこのようにうまくはいかない。

小学校で小学生に福祉の教育をすることは一番適していると思う。

- 小学校でやっているというのは、小学生を対象にしているということか。

小学校は事件があってから入りにくくなっている。

小学生との交流をしているということか。

→小学生と地域の人が交流し、ともに活動をしている。

- 今まで小地域福祉活動は町会のどこかを使うということだったが、その拠点を小学校にしたということか。

→もともとサロン活動は「部屋がない」ということがネックであった。町会会館は町会とつながりのないグループなどはむずかしいこともある。初期の小地域活動は自分のうちの庭を開放して始めたというところもあった。その後学校や児童館などに声をかけてなんとか場所を見つけて始めることができた。

同時に福祉教育にもつながっている。

- 自分たちもサロン梅若という筋トレや盆踊りなどをやるサロンをいくつかの町会とともに立ちあげた。
地域で活動をしている場合、5万円ぐらい出るという話を聞いたが自分たちの場合もできるのか。

→条件がそろえば、サロン1回につき2千円、年に5万円までで。

- サロンなどの活動で、地域の清掃もやろうと言う話しになったとき、区民活動推進課の「やさしいまち」の補助金はもらえるのか。

→相談していただければ、ケースによって出すこともできる。

■ 活動の報告等について

- 老人クラブの活動を紹介する。
老人クラブは社会奉仕・教養講座の開催・健康増進を中心に活動している。
皆さんで楽しめる集まりをつくり、情報交換もしている。
地域福祉の活動でいうと、各クラブでみまもり活動をしている。

3 「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」について

■ 事務局より報告

現段階での進捗状況を報告
開催（案）は別紙資料のとおり。

【委員からの質問・ご意見】

- 今年度中学生のブラスバンド演奏があるが、次回はパレードをやったらどうか。
外に出た方が情報の発信という点では効果がある。
ボランティアフォーラムだからこそ、外にでてほしい。

→なるべく委員の皆様方の意見を取り入れて、ただパネル展示をするだけではなく、どういったことをするとボランティア活動につながりやすいのか、参加者が多くなるのかといった仕掛けを実行委員会で考えて行きたい。

- いつも参加する方が既に活動をされている方のように見受けられる。
視点を变えて、新しい方が多く来てくれるような会にしてもらいたい。
なんとなくまとまりがないような気がするので、もう少し視点をしぼることも必要ではないか。

→今までは広く、多くの方に声をかけてきた。

しかし、今のご意見のようにターゲットをしぼるということも大事だと思うので、検討して行きたい。

- パネルディスカッションの内容はどのようなものか。
パネリストはどんな人が出るのか。

→図書館をベースに世代を超えた活動をしている「ひきふね図書館パートナーズ」や自分の工場を地域に開いて地域の皆さんとつながろうと考えている町工場の方、民生委員さんになられて1期終わった方の活動を話していただくなどを考えている。

4 墨田区で取り組んでいること ～要援護者への災害時支援体制について～

■ 防災課より報告

防災課より墨田区災害時要援護者総合支援プランをについて説明した。
別紙資料のとおり。

3. 11を受けて今後修正の予定あり。

【委員からの質問・ご意見】

- 実際に災害があったときに民生委員から要援護者の情報をもらうのは無理だと考える。
緊急には間に合わない。

→個人情報との関係で、現在は住民防災組織（町会等）には要援護者の方からの手上げ方式の要援護者名簿しかお渡しすることができない。町会で独自に要援護者名簿を作っていたところもあるが、今後の課題である。

→町会に開示できるようになった場合も、町会に入っていない人のことをどうするかが問題になってくる。どの方法がベストというよりも、いろいろな方法を組み合わせることになるかと思っている。

4 その他

- 来月からテレビで地域福祉をテーマにした連続ドラマが始まるが、問題となるケース（ゴミ屋敷・ひきこもり・ニート等）をいろいろ扱っている。今後広がっていくような問題だが、地域福祉としてどうしていくのか。ここでも取り上げていかななくてはならないのではないか。

そろそろ今までの事業の検証をしたり、次回の計画に向けた取組をすることが（別の部会でも良いが）必要ではないかと思っている。

今は行政も社協も手を打っていない、増える一方の問題を今後どうして行くかを早くから考えていかななくてはならない。

会長より : 各行動計画から漏れている、谷間の問題が増えている。
制度はできあがると古くなるという言葉もあるぐらいで、計画の見直しが必要となってくる。
今話があったような、新しい問題についても話し合えるような別動部隊があったほうがいいのではというご提言もあった。
墨田区にはガバナンスの考え方があり、各行動計画の基礎となる墨田区地域福祉計画が浸透している。社協の地域福祉活動計画もこの墨田区地域福祉計画が基礎となって連動している。こんなに連携の取れているところは全国でも多くないと思っている。
委員長としての任期はこれで終わるが、下地はできつつあるのでこれを実体化していくことが重要である。地域福祉・ボランティアフォーラムも続けていくのは簡単なことではないが、来年度で4回目となり成長を続けている。墨田区はどこかの指示を仰ぐというより自らで作り出す段階に来ている。皆さんが地域福祉・ボランティアフォーラムに参加していただき、感じていただきたいと思っている。